

### 「学び続けたい～夜間中学 15歳の春～」と見て

視聴者より

川口自主夜間中学については以前から新聞の地方版などで時々目にしていました。こうして映像で見ると更に詳しく具体的にすることができ良かったです。

先ず部屋の入口に張り出した文『学びたいと思っている方、誰でも入れます』に素晴らしさを感じました。

長い人生の中、ある時ふと学びたい学び直したいと思うことがある人は多いと思います。そうした時に経済的なことに悩むことなしに、その場があるという事、サポートしてくれる人の出会いの場があるという事、しかも年齢その他 のわく組なく自由に出入りできる場があるということの素敵さを感じたのです。

そこで織りなされるサポーターの皆さんとそれを受けながら自分で学びたいと思った気持ちをさらに育てて行こうとの本人の努力がひしひしと感じられる番組でした。

時にここで学ぶ方々とそのご家族がこうして公表されることを恐れず取材に応じて下さった事が、制度の存在を世に知らしめることになりありがたい事だと思いました。高校入学についての就学支援金制度など普通では知ることもなく、学びたい気持ちを諦めてしまう人たちが沢山いる事と思います。

こうした放送を通して多くの人にそれが知られ、さらに学校の進路指導の折の広報を義務付けるなどあったら救われる子も多くなることでしょう。

一度社会に出てから学びたいという自分の気持ちに気づき、扉をたたいてきた人たちの学びの芽を育てられる場としても門戸を開いているこういう団体に公的支援を期待したいとも思いました。しかし、その中身に縛りをつけるような支援ではない援助という意味です。

この教室に出入りする人たち全部から、人間の素晴らしさをつくづく感じさせてもらえる番組でした。

#### 川口自主夜間中学育英基金を立ち上げました

テレビの放送後、多くの方から支援をしたいという声が寄せられています。そこで、高校入学時、高校生活で困った時に支援していきます。詳しくは、スタッフに聞いてください。

がつ きょうむつよてい  
**6・7月の教室予定**

月	川口パートナーステーション(火曜日)					栄町公民館(金曜日)				
6月	7日	14日	21日	28日	—	3日	10日	17日	24日	—
7月	5日	12日	19日	26日	—	1日	8日	15日	22日	<del>29日</del>



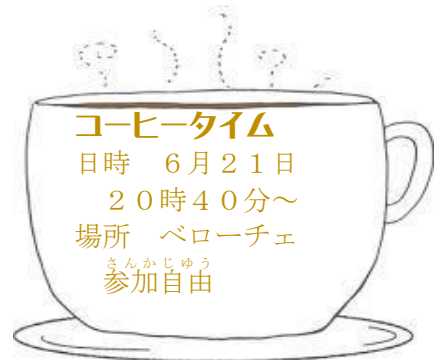
**スタッフ会議 (6月24, 28日)**

学習は8時までになります。  
スタッフは必ず出席しましょう。

スタッフ会議主議題  
今年度方針をどう進めるか  
夏の交流会

**事務局コーナー**

事務局会議 6月14日(水)(第2水曜日)  
川口パートナーステーション(19時より)  
署名活動 6月19日(日)川口駅



(第3種郵便物認可)

# 「学び直す機会を」

## 県内国会議員ら 生徒が支援訴え

### 川口夜間中学視察

「国籍や年齢性別を超えて誰でも学べる学校として運営されている川口自主夜間中学金子和夫代表が24日、JR川口駅前川口市立パートナーステーションで開かれ、衆院の新藤義孝氏(自民)、塩川鉄也氏(産)らの国会議員や市内外の県議、市議など15人が視察。生徒らの「県内に公立夜間中学校を開設してほしい」「学校施設を自主夜間中学に貸してほしい」などの要望に耳を傾けた。(岸鉄夫)

1カ月前に入学した20代のたけさん(仮名)は、ぜひ公立の夜間学校をつくって、学び直すチャンスを与えてほしいと訴えた。

新藤氏は「ボランティアでやっている教育者の信念に敬意を感じ、思いは共有できる。どうしたら実現できるか勉強したい」と述べた。

川口自主夜間中学は、市民団体「川口に夜間中学を作る会」(野川義秋代表)が1985年9月に発足し、同12月に同会が川口市内で開校した。毎週火曜は市民パートナーステーション、金曜は栄町公民館が会場。生徒数は外国人も含めて約50人。教えるス

タッフは定年退職した元教師や大学生など、ボランティアの25人が務めている。

作る会によると、公立夜間中学校は全国に31校あり、生徒数は約2600人。関東では東京都、神奈川県、千葉県にあるが、県内にはない。市民団体による自主夜間中学は、全国で35団体ある。

川口自主夜間中学は、指導スタッフを募集中。問い合わせは、金子さん(0800・1843・1082)へ。

当日は国会議員3名と県議員、さいたま市、川口市の市会議員さんが見えました。また、県教育委員会の方も見えました。

ところが、新藤議員(自民党)は川口市から選出されている議員でありながら、川口市の自民党の市会議員は一人も来ていませんでした。